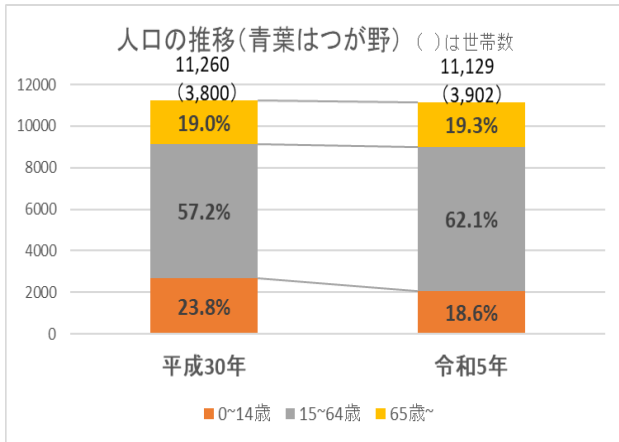


# 青葉はつが野校区

## 地域別人口



## 基礎データ

組織・人的資源	町会自治会数	4
	校区社協役員数	11
	校区社協ボランティア数	58
	民生委員・児童委員数	10
	老人クラブ会員数	458
	認知症サポーター数	3
	おたがいさまサポーター数	13
	高齢者見守り協力事業所数	1
	子ども食堂(子どもの居場所)数	1
対象者数	自主防災組織の有無	有
	ふれあい訪問利用者数	0
	誕生月訪問利用者数	110
	避難行動要支援者登録数	66

## ふくしアンケート結果ランキング(抜粋)

こんなまちだといいな	
1.買物が便利なまち	
2.困りごとの相談窓口がわかりやすいまち	
2 みんなが集まれるイベントやお祭りがあるまち	
こんな場所があったらいいな	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.いつでも自由にボールなどで遊べる場所	1.自由に使える友だちとのたまり場所
2.高齢者の経験や強みを生かせる場所	2.雨の日でも遊べる場所
3.放課後に保護者が帰宅するまで、安全に子どもが過ごせる居場所	3.インターネットが使えるしせつ
興味があるボランティア活動	
一般住民	子ども(小学5年生/中学2年生)
1.災害ボランティア	1.年下の子どもの遊び相手をしたり面倒をみる
2 高齢者の地域での見守り訪問	2.赤ちゃんや小学校に入る前の子どもの世話をする
2.地域や世代を問わない誰もが食を通じて集える場づくり	3. 年下の子どもに勉強を教えたり話し相手になる
2.子ども食堂	

## 地域での話し合い(ワークショップ)での意見

- ❖ 地域情報ネットワークの構築が必要だ。
- ❖ 「ひとりではない」、他人(ひと)と「伴走」することの大切さ。
- ❖ 参加自由、不参加自由の<緩やかな組織>、<ゆるやかな活動>が必要だ。大きなイベントではなく、小さなイベントを大切に。

# 青葉はつが野校区 新たな出発に向けて

## 私たちの重点取り組み

### 重点取り組み①

【目 標】 話し合いの場づくり（情報共有）

【具体的な取り組み】

- 現行のリーダー会議のメンバーが中心となり、テーマごとに、広く関係機関に参加を呼びかけ、定期的な意見交換、情報交換を実施する。
- 対面での交流とともに、SNS を活用した多様な情報交換を実施する。
- 高齢者の孤立を防ぐために、地域に則した見守り活動の在り方を検討する。

### 重点取り組み②

【目 標】 地域活動の活性化

【具体的な取り組み】

- 現行リーダーがそれぞれ個別に「懇親会」を開催し、それを通じてボランティアを獲得する。
- ボランティアとして、若い世代、地元大学生に参加を働きかける。
- ボランティアの定着のために関係者の情報共有を充実する。

### 重点取り組み③

【目 的】 世代間の交流を後押しできるまちづくり

【具体的な取り組み】

- それぞれが実施する事業に必ず「世代間交流」プログラムを企画し、少なくとも年 1 回の実施に努力する。
- 子育てサロンに「先輩ママ」「爺」「婆」も参加し、世代交流を図る。
- 小さな子どもを持つママやパパの子育てを支援する「子育てサロン」を引き続き開催する。



# 青葉はつが野校区社会福祉協議会

青葉はつが野校区の活動テーマ

青葉はつが野校区 新たな出発に向けて

## 重点取組み①

### 話し合いの場づくり（情報共有）

校区社協役員会において、各町会、関係団体代表者やボランティアの方により、地域活動等の情報共有を行いました。また、「校区だより」を発行し、地域住民への情報発信も実施しました。



校区だより

### いきいきサロン



## 重点取組み②

### 地域活動の活性化

子どもの居場所づくりワークショップ（2回）に自治会や子ども会、学校、子育てサロン代表者の方などが参加され、子育てのしやすい地域づくりについて意見交換を行いました。また、いきいきサロンや子育てサロンなども盛況に開催しており、多くの方に参加者やボランティアとしてサロン活動に参加・交流することができました。

## 重点取組み③

### 世代間の交流を後押しできるまちづくり

上記のワークショップで、参加者が子どもの居場所の大切さについて話し合い、確認したことをきっかけに、校区内の子どもの居場所の実態を把握するため、アンケート調査を行いました。その結果、多くの子ども達の声を集めることができ、集まった声を広報誌で住民に報告することができました。

### こどもの居場所づくり ワークショップ



聞き取りの様子



### 令和7年度は…

令和6年度に引き続き、校区だよりを発行してサロン活動等の報告や相談機関等の情報を地域住民へ発信しました。また、7月には地域の高齢者の方を交えた親子での防災クッキングを実施しました。多世代交流を行いながら防災の意識を高めるきっかけにもなり、楽しく防災について学べる良いきっかけとなりました。その他、小学校の福祉教育の一環として地域のサロンで小学生と地域の方との多世代交流等の受け入れ支援を行いました。